

平成19年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査
第2回地域検討会（長崎県） 議事概要

日時：平成19年11月14日（水）

13:00～15:00

場所：対馬市交流センター第3会議室

議 事

開会（13:00）

1. 資料の確認

2. 議事

①前回議事概要及び指摘事項に関する説明〔資料1、資料2〕

②概況調査結果概要に関する説明〔資料3〕

③クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要に関する説明〔資料4〕

④その他の調査の進捗状況に関する説明〔資料5〕

⑤今後の調査スケジュールに関する説明〔資料6〕

3. 全体を通じたの質疑応答

4. その他連絡事項

閉会（15:00）

配布資料

資料1 第1回地域検討会（長崎県）議事概要

資料2 第1回地域検討会（長崎県）での指摘事項に対する対応（案）

資料3 概況調査結果概要

資料4 クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要

資料5 その他の調査の進捗状況（越高地区定点撮影）

資料6 今後の調査スケジュール（案）

以上

平成 19 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（長崎県）

第 2 回地域検討会（長崎県） 出席者名簿

（敬称略）

検討員（五十音順、敬称略）		
阿比留 忠明		対馬市廃棄物対策課
糸山 景大		長崎大学教育学部技術教育教室教授
上野 芳喜		（有）対馬エコツアー 代表取締役
上原 幸生		国土交通省九州地方整備局長崎港湾・空港整備事務所建設管理官室 前任建設管理官
大達 弘明）		対馬海上保安部 警備救難課長
川口 孝範		NPO 法人 環境カウンセリング協会長崎（ECAN） 長崎県地球温暖化防止活動推進センター 理事
小島 裕		しま自慢観光リーダー
多田 樹雄		伊奈漁業協同組合 組合長
豊田 功己		越高地区 区長
永留 秋廣		対馬市廃棄物対策課長
藤原 正晴		対馬保健所衛生環境課長
本多 邦隆		長崎県廃棄物・リサイクル対策課 課長補佐
松原 一征		（社）長崎県産業廃棄物協会 副会長 兼 対馬・壱岐支部長
（代理：西山 保）		（ 同 幹事）
真名子 良介		比田勝海上保安署 次長
オブザーバー（所属機関名）		
松村 一宏		比田勝海上保安署
環境省		
加藤 博巳		九州地方環境事務所福岡事務所 廃棄物対策等調査官
佐々木真二郎		九州地方環境事務所対馬自然保護官事務所 自然保護官
事務局：日本エヌ・ユー・エス(株)		
井川 周三		地球環境ユニット
木本 秀明		HSE ユニット
佐藤 光昭		環境設計ユニット
加藤 稔		生物科学ユニット

議題1 前回議事概要及び指摘事項について(資料-1、資料-2)

- 1) 資料-1(前回議事概要)について、質問・コメント等はなし。
- 2) 資料-2(第1回地域検討会(長崎県)での指摘事項に対する対応(案))に示されている地域検討会の公開に関し、マスコミへの要望として、ゴミの問題を被害者、加害者という捉え方をしないようにコメントが出された。

議題2 概況調査結果概要に関する説明(資料-3)

- 1) 漂着マップ作成時のコメントとして、住民らによる清掃活動等の努力量を反映してもらいたい要望が出された。
- 2) 市民らのボランティア活動等の情報を集約するシステムの構築を対馬市にお願いしたい。→(対馬市) 今後、検討したい。

議題3 クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要に関する説明(資料-4)

- 1) 中国製のブイ(漁具)を日本で使用しているのか。→(検討員) 30~40年定置網をしているが中国製のブイを使用したことも、使用した例を見たこともない。
- 2) ゴミ処理のための運搬費が相当高く、これが対馬市の財政を圧迫すると思われるが、補助等について環境省の考えはどうか。
→(環境省) 平成19年度から補助制度の対象範囲を広げ、150m³以上のゴミについては、補助金と交付金で最大90%カバーできるようになっている。例えば、300万円の場合には、30万で済むので活用願いたい。
- 3) 今回のゴミ処分は北九州でされているが、北九州に限らず処分費用や運搬費を安くする方法等について検討してほしい。
→(事務局) 今後の検討課題であり、検討して行く計画である。
- 4) 今回の調査資料は一般公開できるのか。
→(事務局) 環境所のHPで公開予定になっている。ただ、図書館等に配置する等の検討はされていない(資料を環境省のHPから打ち出し、それを図書館で閲覧するなどに対応可能と考える)。
- 5) ゴミの漂着について、その漂流経路などの実験による調査は計画されているか。
→(事務局) シミュレーション調査は実施するが、本年度は三重県と山形県の2ヶ所に限定しており、環境省地球環境局が日本海、東シナ海を対象とした国際的削減方策の調査を実施しているので、韓国沖からのシミュレーションについては行なわない。

議題4 その他の調査の進捗状況に関する説明(資料-5)

- 1) 定点撮影はどの程度の期間が予定されているのか。
→(対馬市) 来年の3月までである。

議題5 今後の調査スケジュールに関する説明(資料-6)

質問・コメント等はなし。

その他 全体を通じての質疑応答

- 1) 今回配布の資料に含まれている航空写真に見られるような人の入れないところの漂着ゴミについて、今後議論は避けられない。具体的な対処策、問題の所在等々について、次回アイデアを持ち寄り議論することが提案された。